

患者様・利用者様の受け入れ体制

当院の医療・介護提供体制を知っていただくことで、地域連携を促進させ、住みやすい“まちづくり”に少しでも貢献していきたいという想いを込めた『さくら通信』。今号は当法人における患者様・利用者様の受け入れ体制についてご紹介します。



一般病床

急性期の治療ステージにある方を対象に、病気の発見・診断・治療を行っています。MRIを配備していることで、全身の高度な画像診断が可能となり、検査後の治療を迅速・正確に施す環境が整っています。

こんな患者様が対象です

- ・ 整形外科疾患で手術適応の方
- ・ 慢性疾患（腰痛、膝痛など）が増悪した方
- ・ 内科・外科疾患（呼吸器、消化器、脳梗塞など）



地域包括ケア病床

急性期は終わったものの、そのままご自宅や施設に移行するには不安のある患者様を受け入れています。医学的管理やリハビリなどを通じ、在宅復帰をスムーズにします。2ヶ月以内での退院を目指します。

こんな患者様が対象です

- ・ 在宅復帰を目指す方
- ・ ご自宅や施設で急に具合が悪くなった方
- ・ ショートステイ、デイサービス利用者で急に具合が悪くなった方
- ・ 他院の急性期病床で症状が安定した方、転院される方
- ・ 在宅復帰まで集中してリハビリを受けた方 など



リハビリスタッフが
充実!



医療療養病床

急性期の治療が終わり、医療必要度の高い長期療養を必要とする患者様が対象となります。医師・看護師・管理栄養士など多職種で密に連携を図り、一人ひとりのニーズに合わせたケアを行います。



こんな患者様が対象です

主に医療区分2～3に該当する医療必要度の高い方

(筋ジストロフィー、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病関連疾患、その他神経難病、脊髄損傷(頸髄損傷)、慢性閉塞性肺炎(COPD)、疼痛コントロールが必要な悪性腫瘍、褥瘡、中心静脈栄養が必要な方、人工呼吸器装着の方、1日8回以上の喀痰吸引が必要な方、気管切開又は気管内挿管が行われている方など) 詳しくは、お問い合わせください。



レスパイト入院

在宅で療養されている常時医療管理が必要な方を対象にしています。介護者の事情(冠婚葬祭や旅行など)で在宅での介助が一時的に困難になった場合、短期的に入院でき、介護者の心身の負担を軽減する仕組みです。

こんな患者様が対象です

- ・がんの疼痛管理(当院で経過観察している方)
- ・夜間も吸引が必要
- ・点滴、胃瘻、経鼻での栄養が必要
- ・気管切開をしている
- ・その他(褥瘡処置、在宅酸素など)



入所・ショートステイ

自宅で療養生活をしている要介護者が、一時的に施設に入所し、介護、機能訓練、そのほか必要な医療的ケアなどが受けられます。医師や看護師、リハビリ専門職が配置され、在宅復帰にむけたサービスを提供しています。

こんな患者様が対象です

- ・要介護認定(要介護1～5)を受けている方
- ・特定疾病に認定された40歳から64歳までの方
- ・集中的なリハビリテーションが必要な方
- ・認知症の方



まずはお気軽にご連絡ください 森田病院 連携サポートセンター ☎0761-21-1746

〈主な業務〉・紹介・逆紹介の促進、スムーズな入退院の推進、医療・介護相談(患者・利用者・ご家族向け) など

センター長
森田保彦医師



お問い合わせ先：医療法人社団さくら会 森田病院 〒923-8507 小松市園町ホ99番地1 TEL.0761-21-1555 FAX.0761-22-8734